

# シンガポール取引所 (SGXL)

印グジャラート州の国際金融都市「GIFT City」で取引される「GIFT Nifty」はインド取引時間外もカバーする先物シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

**フィリップ証券株式会社**

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2026/6期1Hは、財務収益を除く純営業収益が前年同期比10.1%増、調整後EBITDAが同9.2%増。調整後総費用の対営業収益比率が改善。
- 取引枚数は鉄鉱石先物含むコモディティ・デリバティブ取引が24%増、通貨デリバティブ取引が18%増、店頭FX取引が32%増へ拡大。
- グジャラート州の国際都市「GIFT City」で取引される「GIFT Nifty」はインドの取引時間外もカバーする流動性の高い先物として注目される。

## What is the news?

2/5発表の2026/6期1H (7-12月) は、財務収益を除く純営業収益が前年同期比10.1%増の6.36億SGD、一時的・例外的要因の影響を除く調整後EBITDAが同9.2%増の4.66億SGD、調整後純利益が同11.6%増の3.57億SGD。「多様化されたマルチ・アセット戦略」の下、エクイティ・デリバティブ部門を除く主要3事業部門が堅調に推移したことに加え、調整後総費用の対営業収益比率が同1.8ポイント低下の38.9%へ改善したことも増益に寄与した。

1Hの主要4事業セグメント別の営業収益は以下の通り。

①「債券、通貨およびコモディティ部門 (FICC)」は前年同期比12.5%増の1.78億SGD。その内、債券は30%増の6.2百万SGD。通貨・コモディティは12%増の1.72億SGD。取引枚数では、主力の鉄鉱石先物をはじめとするコモディティ・デリバティブ取引が24%増、米ドル・人民元の通貨先物をはじめとする通貨デリバティブ取引が18%増、およびOTC (店頭) のFX取引の日次平均が32%増と拡大した。②「エクイティ・キャッシュ部門」は同16.2%増の2.23億SGD。1日当たり平均売買金額が20%増加した。清算手数料率は0.05ポイント上昇の2.62%へ改善した。③「エクイティ・デリバティブ部門」は同5.6%減の1.67億SGD。取引枚数では、取引枚数比率で首位のFTSE中国A50指数が増加したものの、インドGIFT NIFTY指数、FTSE台湾指数、日経平均株価指数などが減少し、全体の日次平均取引枚数が0.4%減少した。④「プラットフォームその他部門」は同6.8%増の1.25億SGD。内訳は、市場データが16%増、接続収入が11%増だったが、指数その他収入が横ばいだった。

## How do we view this?

2026/6通期会社計画は、財務収益を除く純営業収益が前期比6-8%増、総費用増加率が同4-6%増、資本的支出が同33-41%増の90-95百万SGDと、従来計画を据え置いた。中期的会社見通しは、総費用増加率が1桁前半～半ばの増加率、資本的支出は当面の間は景気サイクルとの兼ね合いで平均的な売上高設備投資比率の7%を下回る水準で推移すると見ている。

SGXに関し、今後はアジアにおける中国とインドへのゲートウェイとしての位置付けの重要性が高まると見込まれる。特にインドでは2024年7月より開始されたインドのNSE (ナショナル証券取引所) とのクロスボーダーによるデリバティブ取引を背景に、グジャラート州の国際金融都市「GIFT City」で取引されるGIFT Nifty指数のほか、インド個別株先物、米ドル/インドルピー先物の取引の拡大が期待される。特にGIFT Niftyは、シンガポールから移管され、インドの取引時間外もカバーする流動性の高い先物として、インド株の先行指標としても注目されている。

## 業績推移

※参考レート 1SGD=123.18円

事業年度	2023/6	2024/6	2025/6	2026/6F	2027/6F
万SGD)	1,194	1,231	1,370	1,444	1,532
万SGD)	570	597	648	690	746
	0.52	0.55	0.60	0.66	0.70
PER (倍)	17.11	16.55	24.50	27.42	25.86
	1.59	1.83	2.06	2.24	2.46
PBR (倍)	5.60	4.97	7.13	8.08	7.36
	0.33	0.35	0.38	0.45	0.49
配当利回り (%)	3.71	3.85	2.59	2.49	2.71

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD)	0.45	(予想はBloomberg)
終値 (SGD)	18.10	2026/2/9

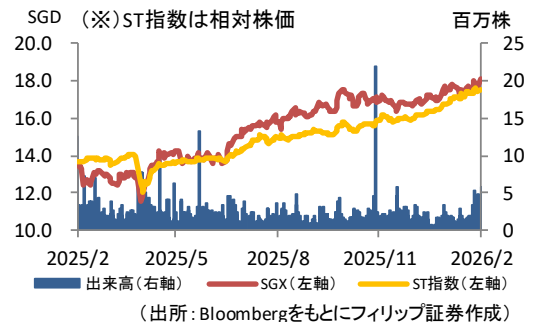
## 会社概要

1999年設立。アジアを代表する資本市場インフラであり、取引所やクリアリングハウスの所有、運営を行っている。株式、債券からデリバティブ商品までマルチ・アセットに対応しており、上場から取引、清算、決済、保管およびデータサービスまでに至る、総合的なサービスを提供している。上場株式の40%がシンガポール国外の発行体のものであるほか、上場公社債の80%が国外で組成されたものであるなど、国際化が進んでいる取引所である。

同社は、①債券、および通貨・コモディティに係るデリバティブ事業部門、②現物株式 (エクイティ・キャッシュ) 部門、③エクイティ・デリバティブ事業部門、④時価データ・接続および指数 (プラットフォームその他) の4事業セグメントから構成されている。

## 企業データ (2026/2/10)

ベータ値	0.79
時価総額 (百万SGD)	19,358
企業価値=EV (百万SGD)	18,367
3か月平均売買代金 (百万SGD)	39.8



## 主要株主 (2026/2)

1. プラックロック	4.97
2. VANGUARD GROUP	3.06
3. シュロ・ダ-	2.75

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。